

Ⅱ 機関研修

1 担当機関と研修内容

総括・主管	担 当 機 関	日 数			研 修 内 容 等
		1 年 目	2 年 目	3 年 目	
総合教育センター	総合教育センター	1			開講式
		1			基本研修
		5	4		教科研修
		4	2		教科外研修
		1			防災教育研修
		1			自然体験研修
		1			特別支援教育研修
				1	一般研修
				2	選択研修（自己の課題と伸ばしたい能力に応じた研修）
				1	閉講式
	合 計 日 数	14	6	4	合計 24 日

2 機関研修計画

● 1 年 目 (1 4 日)

令和 7 年度 新規採用者

No.	研修名 身に付ける資質能力	期日及び対象	研 修 内 容	会場
1	開講式 (オンライン研修) 授業力 生徒指導力 子供理解 支える 情熱 人間性 研鑽力	令和 7 年 4 月 3 日 (木) ~ 4 月 1 1 日 (金) (小・中・高・特・養・栄・実・寄)	講話「新任教職員に期待すること」 ガイダンス「初任研ガイダンス」 講話「社会人としての心構えとマナー」	各所属校
2	教科研修 1 授業力 生徒指導力 子供理解 支える 情熱 人間性 研鑽力	4 月 2 2 日 (火) (高)	講義「学習指導について」 講義「教育の情報化」 講義・演習「授業設計の基本」(教科ごと)	総合教育センター
3	基本研修 (オンライン研修) 授業力 生徒指導力 子供理解 支える 情熱 人間性 研鑽力	4 月 2 8 日 (月) ~ 5 月 9 日 (金) (小・中・高・特・養・栄・実・寄)	講義「教職員の服務と研修」 講義「みやぎの志教育」 講義「本県におけるいじめ防止と学校に登校していない児童生徒への支援」 講義「保護者とのかかわり」 講義「学級経営の基本」	各所属校
4	教科外研修 1 授業力 生徒指導力 子供理解 支える 情熱 人間性 研鑽力	5 月 2 0 日 (火) (高・特・実・寄)	講義「教育相談」 演習「カウンセリングの基本技法」	総合教育センター
5	防災教育研修 授業力 生徒指導力 子供理解 支える 情熱 人間性 研鑽力	6 月 1 0 日 (火) (小・中・高・特・養・栄・実・寄)	講義・見学「震災遺構視察」 協議「防災教育の実践」 ※事前 e ラーニング 教材「教職員のための学校安全 e ラーニング」 講義「防災教育の観点から教職員に求められるもの」	県内震災遺構
6	教科研修 2 授業力 生徒指導力 子供理解 支える 情熱 人間性 研鑽力	6 月 2 4 日 (火) (高・特高)	講義「学習指導案の作り方」 実践発表「授業設計の工夫～言語活動と ICT 活用 によって効果を高める学習指導～」 研究協議「学習指導上の諸課題」(教科ごと)	総合教育センター
7	教科外研修 2 ※注 授業力 生徒指導力 子供理解 支える 情熱 人間性 研鑽力	7 月 8 日 (火) (高)	講義「部活動指導について」 研究協議「部活動指導上の諸課題の解決に向けて」 演習「構成的グループエンカウンター」	総合教育センター
8	特別支援教育研修 (オンライン研修) 授業力 生徒指導力 子供理解 支える 情熱 人間性 研鑽力	7 月 1 5 日 (火) ~ 8 月 8 日 (金) (小・中・高・特・養)	講義「インクルーシブ教育について」 講義「知的障害のある児童生徒の指導」 講義「自閉症・情緒障害のある児童生徒の指導」 講義「発達障害のある児童生徒の理解と支援」	各所属校
9	教科研修 3 授業力 生徒指導力 子供理解 支える 情熱 人間性 研鑽力	8 月 7 日 (木) 又は 8 日 (金) (高・特高)	協議 「初任研(2 年目)・中堅研の模擬授業(参観)」	総合教育センター 県内 3 地区の会場
10	自然体験研修 授業力 生徒指導力 子供理解 支える 情熱 人間性 研鑽力	9 月 3 0 日 (火) 又は 1 0 月 7 日 (火) (小・中・高・特・養・栄)	実習「野外炊飯」 実習「自然体験活動」	蔵王自然の家 松島自然の家 志津川自然の家
11	教科研修 4 授業力 生徒指導力 子供理解 支える 情熱 人間性 研鑽力	1 0 月 2 1 日 (火) (高・特高)	講義・演習「ICT を活用した教材づくり」 研究協議「学習指導案検討」(教科ごと)	総合教育センター
12	教科研修 5 授業力 生徒指導力 子供理解 支える 情熱 人間性 研鑽力	1 1 月 1 1 日 (火) 又は 1 8 日 (火) (高・特高)	模擬授業「模擬授業(実践)・研究協議」 ※ 5 年経験者研修と合同	総合教育センター
13	教科外研修 3 (オンライン研修) 授業力 生徒指導力 子供理解 支える 情熱 人間性 研鑽力	1 2 月 2 日 (火) ~ 1 2 月 2 6 日 (金) (小・中・高・特・養・栄・実)	講義「教職員のライフデザインとワーク・ライフ・バランス」 講義「宮城県の教育行政の現状と課題」 講義「学校生活に不安を抱える児童生徒への 理解と対応」 講義「教職員のメンタルヘルス」	各所属校
14	教科外研修 4 ※注 授業力 生徒指導力 子供理解 支える 情熱 人間性 研鑽力	令和 8 年 1 月 2 0 日 (火) (高)	講義「ホームルーム経営の基礎」 実践発表「ホームルーム経営について」 協議「私が目指すホームルーム経営」	総合教育センター

※注 県立中学校の初任者は、「教科外研修2」「教科外研修4」を受講する。

※ ☐ は研修を通して身に付ける資質能力(「みやぎの教員に求められる資質能力」より)

● 2 年 目（6 日）

令和 6 年 度 新 規 採 用 者

No.	研修名 身に付ける資質能力	期日及び対象	研 修 内 容	会場
15	教科研修 6 授業力 生徒指導力 子供理解 支える 情熱 人間性 研鑽力	令和 7 年 5 月 1 6 日（金） （高・特高）	講義・演習「カリキュラム・マネジメントの視 点を取り入れた授業改善（仮）」 講義・演習「学習を促進し学習効果を高めるテ ストとフィードバック」 講義・演習「単元構想・授業づくり について（仮）」	総合教育センター
16	教科研修 7 授業力 生徒指導力 子供理解 支える 情熱 人間性 研鑽力	6 月 2 6 日（木） （高）	実践発表「模擬授業（参観）・実践事例発表」 研究協議「学習指導案検討」	総合教育センター
17	教科研修 8 授業力 生徒指導力 子供理解 支える 情熱 人間性 研鑽力	8 月 7 日（木） （高・特高）	模擬授業「模擬授業（実践）・研究協議 1」 ※高特（高）1 年目研・2 年目研・中堅研合同	総合教育センター 県内 3 地区の会場
18	教科研修 9 授業力 生徒指導力 子供理解 支える 情熱 人間性 研鑽力	8 月 8 日（金） （高・特高）	模擬授業「模擬授業（実践）・研究協議 2」 ※高特（高）1 年目研・2 年目研・中堅研合同	総合教育センター 県内 3 地区の会場
19	教科外研修 5 授業力 生徒指導力 子供理解 支える 情熱 人間性 研鑽力	1 0 月 9 日（木） （高・特高）	講義「学校における人権教育」 講義・演習「発達支持的生徒指導」 協議「学級経営の課題と対応」	総合教育センター
20	教科外研修 6 授業力 生徒指導力 子供理解 支える 情熱 人間性 研鑽力	1 1 月 1 2 日（水） （高）	講義「キャリア教育と進路指導」 実践発表「実践事例発表」 協議「キャリア教育と進路指導について」	総合教育センター

※ ☐ は研修を通して身に付ける資質能力（「みやぎの教員に求められる資質能力」より）

● 3 年 目（4 日）

令和 5 年 度 新 規 採 用 者

No.	研修名 身に付ける資質能力	期日及び対象	研 修 内 容	会 場
21 22	選択研修★ (2 日)	各研修会等による	総合教育センターが実施する研修会、公開校研究会、各種研修から選択	各研修会等による
23	一般研修 授業力 生徒指導力 子供理解力 支える 情熱 人間性 研鑽力	令和 7 年 6 月 1 8 日（水） （高・特高）	講義「宮城県の生涯教育・協働教育について」 講義「学校における安全教育」 講義・演習「教員の服務規律」 協議「教職 3 年目における課題発見と解決①」	総合教育センター
24	閉講式 授業力 生徒指導力 子供理解力 支える 情熱 人間性 研鑽力	令和 8 年 1 月 2 9 日（木） （高・特高）	協議「教職 3 年目における課題発見と解決②」 講話「みやぎの教員に期待すること」 協議「未来の教育を担う私たち」	総合教育センター

※ ☐ は研修を通して身に付ける資質能力（「みやぎの教員に求められる資質能力」より）

★選択研修（2 日）の内容

研修内容	対象とする研修等	選択可能な日数	選択の組合せ					
①総合教育センターが実施する研修会	・教科等に関する研修 ・特別支援教育に関する研修 ・教育相談に関する研修 等から選択 ※ 1 つの研修会で 2 日間設定されている場合は、当該の研修会受講で「2 日」とみなす。 ※ 半日の研修であっても、研修日数を「1 日」とみなす。	1 日又は 2 日	2 日		1 日		1 日	
②公開校研究会、各種研修	・公開校研究会 ・教育研究会主催による県大会以上の研究大会 ・MAP 研修 ※ 半日の研修であっても、研修日数を「1 日」とみなす。	1 日又は 2 日		2 日	1 日	1 日		
③その他	①②に準ずる研修等で、校長が初任者研修の趣旨に沿う内容であると認める研修 ※ 半日の研修であっても、研修日数を「1 日」とみなす。	1 日又は 2 日				1 日	1 日	2 日
計			2 日	2 日	2 日	2 日	2 日	2 日

【留意事項】

- (ア) 「①総合教育センターが実施する研修会」については、令和 6 年度末に総合教育センターホームページ上に掲載される「令和 7 年度宮城県教職員研修計画」から研修会を選び、所属校において受講申込を行う。なお、研修会の受講対象者を確認し、「初任者研修（3 年目）選択研修」に該当する研修を選ぶこと。
- (イ) 「②公開校研究会、各種研修」については、総合教育センターホームページ上に掲載する「初任者研修（3 年目）選択研修一覧」から研修会等を選び、所属校において受講申込を行う。
- (ウ) ②、③については、研修先は宮城県内に限る。なお、受講料等が必要な場合は、自己負担とする。
- (エ) 校長、副校長又は教頭の指導及び助言の下、自己の課題と伸ばしたい能力に応じた研修を選択すること。

3 教科研修についての流れ

●1年目【令和7年度新規採用者】

教科研修1	令和7年 4月22日（火）	講義「学習指導について」、講義「教育の情報化」 講義・演習「授業設計の基本」（教科ごと）
教科研修2	6月24日（火）	講義「学習指導案の作り方」 実践発表「授業設計の工夫～言語活動とICT活用によって効果を高める学習指導～」 研究協議「学習指導上の諸課題」（教科ごと）
教科研修3	8月7日（木）又は 8月8日（金）	協議「初任研（2年研）・中堅研の模擬授業（参観）」
学習指導案提出①（電子メールで9月26日（金）まで）		
教科研修4	10月21日（火）	講義・演習「ICTを活用した教材づくり」 研究協議「学習指導案検討」（教科ごと）
学習指導案提出②（電子メールで11月5日（火）まで）		
教科研修5	11月11日（火）又は 11月18日（火）	模擬授業「模擬授業（実践）・研究協議」

●2年目【令和6年度新規採用者】

教科研修6	令和7年 5月16日（金）	講義・演習「カリキュラム・マネジメントの視点を取り入れた授業改善（仮）」 講義・演習「学習を促進し学習効果を高めるテストとフィードバック」 講義・演習「単元構想・授業づくりについて（仮）」
学習指導案提出①（電子メールで5月22日（木）まで）		
教科研修7	6月26日（木）	実践発表「模擬授業（参観）・実践事例発表」 研究協議「学習指導案検討」（教科ごと）
学習指導案提出②（電子メールで7月24日（木）まで）		
教科研修8	8月7日（木）	模擬授業「模擬授業（実践）・研究協議1」
教科研修9	8月8日（金）	模擬授業「模擬授業（実践）・研究協議2」

4 機関研修の受講に係る留意事項

(1) 機関研修を欠席する場合

- ① 初任者研修は、悉皆研修である。そのため、やむを得ない理由以外による欠席は認めない。
- ②(ア) 県立学校の場合

教頭等は、研修担当指導主事に電話連絡をし、欠席する場合、速やかに当該初任者の「欠席届」（「令和7年度宮城県教職員研修計画」を参照）を以下のルートで総合教育センター所長宛てに提出する。

学校 → 総合教育センター

(イ) 市立学校の場合

市教委に相談の上、欠席する場合、教頭等は研修担当指導主事に電話連絡をする。その後、速やかに当該初任者の「欠席届」を以下のルートで総合教育センター所長宛てに提出する。

学校 → 市教育委員会 → 総合教育センター

- ③ 欠席した研修の補充等については、欠席事由や研修内容などにより対応が異なることから、研修担当指導主事から直接指示を受ける。

(2) 受講延期について

- ① 産前産後の特別休暇、育児休業、休職、その他やむを得ない理由で機関研修の一部又は全部を受講できないことが判明した場合は、受講の延期について、当該初任者の所属する校長と総合教育センター所長が協議を行う。
- ② やむを得ない理由で受講の延期をする場合、校長は、速やかに当該初任者の「期日変更・延期願」（「令和7年度宮城県教職員研修計画」を参照）を、総合教育センター所長宛てに提出する（提出先は上記「欠席届」と同様）。
- ③ 「延期願」は、年度ごとに許可されるため、原則として年度始めに提出すること。複数年度にまたがる場合、毎年4月に提出すること。